

おぢや City Data



■面積	155.12km ²
■周囲	86.1km
■広ぼう	東西 17.21km 南北 20.01km
■標高	最高 581m 最低 27m

■位置
 極東(大字塩谷) 東経138度54分
 極西(真人町) 東経138度44分
 極南(大字岩沢) 北緯37度12分
 極北(片貝町) 北緯37度23分

■市役所の所在地
 新潟県小千谷市城内2丁目7番5号
 東経138度48分 北緯37度14分

■市の概要

小千谷市は新潟県のほぼ中央に位置。日本一の大河・信濃川が市の南東部から北東部へと流れ、その信濃川が生み出した、全国でも類を見ない規模の河岸段丘の地形が特徴です。
 地名の由来は、平安時代の「和名抄」に見られる、古代魚沼郡の四つの郷のうちのひとつ、「千屋郷」が起りこりと言われています。近世になると、街道が出会う立地であったことから宿場町となり、信濃川水運の船着場、小千谷縮の生産地としても発展。明治22年の市制町村制施行を経て、昭和29年に小千谷市が誕生しました。
 関越自動車道や国道、JRなどの交通網も充実。冬は豪雪に見舞われる厳しさ、その雪解け水がもたらす美しい自然や田園のなかで、小千谷特有の文化や産物を育み、多彩な産業活動が息づいています。

克雪都市宣言

豪雪地帯に位置する小千谷市は、産業・経済・文化等あらゆる分野においてきびしい自然条件のもとにあり、市民の日常生活においても豪雪による障害は、まことに大きいものがあります。この宿命的な豪雪に対処して、今日まで小千谷市民あげて英知を結集し、諸施設の開発整備をはかり、道路の無雪化による市民生活の確保をはじめとして、地域格差是正のため鋭意努力してきました。

しかしながら、現状ではなお課題が多く、将来にわたって雪と闘い、これを克服し、更には雪を資源として利用するなど雪のもたらす恵沢を生かした住みよい都市を建設するため、一層の努力を傾注しなければなりません。
 市制施行二十五周年にあたり、この理想実現のため、全市民が力を合わせて邁進することを誓い、わが小千谷市を「克雪都市」とするものであります。

(昭和五十四年八月十七日 議決)

健康づくり都市宣言

近年、生活水準の向上などにより、平均寿命の伸長や青少年の体位向上がみられるようになりました。しかし、その反面社会環境の複雑化による健康障害の増大や運動不足、栄養の不均衡などによる諸疾病の多発がみられ、これらの解決が今後の大きな課題となっています。

健康は、人類永遠の願いであり、幸福の根幹をなすものであります。
 この基本理念に立ち小千谷市では、豊かで住みよい生活環境の確保と市民の健康増進を目指して今後一層の努力を傾注するとともに、市民も一人一人が健康に対する自覚と認識を深め、生涯を通じて健全でたくましい心とからだづくりにつとめ、明るく幸せな市民生活をおくることを願うものであります。
 市制施行二十五周年にあたり、全市民あげて健康づくりの推進をはかるため、わが小千谷市を「健康づくり都市」とするものであります。

(昭和五十四年八月十七日 議決)

非核平和都市宣言

美しい自然と平和を愛する心は、私たち人類の共通の願いです。
 しかし、今なお、核兵器の脅威をはじめ、悲惨な争いがあつたをたず、人類の平和と地球環境が脅かされています。

私たちは、世界でただ一つの被爆国の国民として、非核三原則を堅持し、すべての国のあらゆる核兵器がすみやかに廃絶され、人類永久の平和が確立されることを強く願うものであります。
 小千谷市民は、平和を願う心を結集し市民一人ひとりが平和達成のために努力することを誓い、わが小千谷市を「非核平和都市」とするものであります。

(平成四年六月二十三日 議決)